

地域共生社会の実現を目指し、福祉・医療・教育等、幅広く生涯学習できる環境を整備するため、「東通カレッジ」を開講致します。

青森県内の高等教育機関や村内の民間、近隣市町村と連携し、若者の人材育成に向けた「新たな東通スタイルの教育」を推進致します。

保幼・小・中一貫教育を推進し、ひとりひとりに寄り添った教育を実践致します。

三つ目は、未来を牽引する「しごとづくり」の推進に向けて、東通村の地域経済を底上げし、雇用の場の確保に努め、人口減少問題に対して、さまざまな手を打ち致します。

具体的施策として、「攻めの稼げる第一次産業振興策」を実施し、様々な専門機関と連携しながら所得向上に努めます。

「新たな稼げる農業・漁業振興モデル」を策定し、新たな担い手の育成を推進致します。

「攻めの商工事業支援策」を実施し、既存の商工事業者の新たな販路拡大、事業拡大を支援致します。

「東通新ビジネス」の支援を行い、起業や創業する方を増やし、移住定住につなげて参ります。

東通村の特徴を活かした「ワーケ

ション推進」を行い新たな企業誘致につなげて参ります。

四つ目は、ひとりひとりに寄り添う「くらしづくり」の実現へ向けて、子供からお年寄りまで安心して暮らしやすいダイバーシティ型の村を目指して参ります。

具体的施策として、子育てしやすい環境を整備するために新たな子育て支援策の充実を図って参ります。

中心地だけでなく、村内に住宅を整備し、流出人口を減少させます。

障がい者の雇用・居場所づくりを行い、多様性が認められる村を目指して参ります。

介護予防活動を充実させ、お年寄りの見守り活動が地域内で出来る環境を整備致します。

日々の暮らしに不便を来すことのないよう「買物難民」への支援を致します。

東通村の情報が分かるSNSを開設し、暮らしに関わる情報をすぐに提供できる体制を構築致します。

五つ目は、村民のいのちを守る「むらづくり」の実現へ向けて、災害に強い村づくりを目指して参ります。

具体的施策として、新型コロナウイルスのワクチンを効率よく接種できる体制を整備致します。

東通村モデルの新型コロナウイルス感染症対策行動計画を策定し、村民のいのちを守ります。

災害時・緊急時に障がい児・者が安心して避難できる専用の施設を整備致します。

災害・感染症によって影響がある村内の事業者及び各家庭に対して新たな支援策を構築致します。

災害や新たな感染症が起きたときにいち早く対応できる災害に強い「東通村防災モデル」を構築致します。

六つ目は、原子力との共生を目指す「東通モデル」の推進へ向けて、各種基盤整備と地域経済の牽引のため、早期の再稼働を実現致します。

国、県、事業者との対話を深め、村議会との連携をもつて、幅広い要望活動を展開致します。

再稼働に向け避難施設、避難道路を早急に整備致します。

原子力関連産業を誘致し、雇用の拡大・充実を図って参ります。

近隣市町村と連携し、エネルギー政策のさらなる推進に努めて参ります。

東通村だからできること、東通村にしかないこと、そして何より村民目線の村政運営の基本的な考え

として、公約に掲げた六つの柱と二十九の施策につきまして、実現と推進に向かって、職員と心を一つにして最善を尽くして参ります。これからの時代を担う子ども達が、この村に生まれ育ったことを誇りに思い、いつまでも愛してやまぬ「ふるさとひがしどおり」を創生することが、今を生きる我々に課された責務だと思っております。

財政に象徴されるように、村を取り巻く様々な環境が、今後一層厳しさを増す中で、東通村の発展のため力を尽くしていく所存でありますので、村民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、村長就任にあたっての所信表明と致します。



訓示を述べる畑中村長